

授産部の作品も並んだバザー会場

家族、ボランティア  
ア々と楽しい一日

市内鹿原の精神薄弱者の更生・授産施設「みずなぎ学園」

六回目。午前中は更生部、音楽クラブ、授産部の舞台発表があり、練習の成果を精一杯に披露。園庭ではうどんやおでん、お好み焼きを販売するテントが並び、とても長い列が出来た。授産事業として陶芸、織製、農芸などの指導が行われているが、園生先

ちが日頃取り組んだ作品のバザーもあり、こちらも大盛況。それ以外にも、園生が独自に作り上げた自慢の作品を展示したコーナーも作られた。午後からは、保護者やボランティアのアトラクションも行われ、学園内には終日楽しい歓声が響いていた。

1989年(平成元年) 12月8日 (金曜日)

新 日 毎

「みずなぎ高野学園」着工

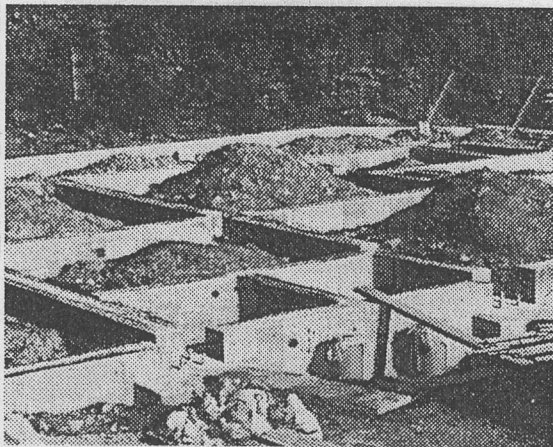
精神薄弱者授産施設

舞鶴市野村寺、精神薄弱者通所授産施設「みずなぎ高野学園」の起工式が七日、現地で行われた。

本校のみずなぎ学園は同市鹿原に所在。こちらは寄宿設備もあり、同市を中心に百十人の精神薄弱者が生活訓練と職業教育を受けているが、入園希望者が多く、約二年前から分校の開園を望む声が高まっていた。

それが今春、開園のための国、府の補助がつき、同市も旧高野小跡地の無償貸与を申し出たことから着工することになった。

みずなぎ高野学園は鉄筋平屋の四八〇平方メートル。総工費一億二千五百万円。定員は三十



みずなぎ高野学園の建設予定地—舞鶴市野村寺

人で農芸、包製加工、粉せりけんの製造などの職業教育が行われる。来年四月に開園す

る。式には、福祉関係者ら約五十人が参加。神事のと隔山陣理事長が「生活訓練、職業教育の場として期待に応えられるよう職員一同、精いっぱい頑張ります」とあいさした。